

今週（7月4日から7月8日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、調達サイドの増加もあり、週を通してレート水準が上昇する展開となった。無担保コールO/N物は、週初は▲0.03～▲0.015%程度であったものの、週後半にかけては、日を追う毎に上昇し▲0.015～▲0.005%近辺での出会いが中心となった。

ターム物に関しても調達意欲が強く、レート水準を徐々に切り上げる展開となったが、運用サイドが少なく、出会い量は限られた。

日銀当座預金残高は、4日の法人税・年金保険料揚げにより減少し、その後は週を通して540兆円台後半での推移となった。

●レポ市場

今週のGCT/Nは、▲0.20～▲0.10%での出会いとなり、幅広いレンジでの取引となった。

国債の品薄感が強い状況が続く中、輪番オペや入札の影響を受けたオファーサイドの動向が不安定となった事から、ボラティリティの激しい展開となった。

SCIについては、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、流通市場では動意に乏しく閑散な状況であった。入札に関しては、7日に実施された6M物(1092回債)が、12月末越え物となった事などから強めの決着となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでも、しっかりと推移した。8日に実施された3M物(1094回債)は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

5日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億でオファーされ、平均落札利回り較差、全取利回り較差ともに+0.020%と、弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、10日を挟む発行集中日があり、石油・小売・不動産・鉄鋼等の複数業態で大型発行があった。週間の金額ベースで見ると大幅な発行超となっており、市場残高は26兆円台後半まで回復している。発行レートについては、日銀の適格担保銘柄は概ね0%近傍で決着している。

CP等買入オペは、8日に予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、平均落札レート0%、按分レートは▲0.001%となり、前回比(平均0.009%・按分▲0.001%)では、平均落札レートは低下、按分レートは横這いとなった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/4 (月)	26,153.81	0.219	134.94	△ 0.022	△ 0.109	5,486,200
7/5 (火)	26,423.47	0.250	136.13	△ 0.016	△ 0.153	5,488,200
7/6 (水)	26,107.65	0.245	135.68	△ 0.012	△ 0.170	5,460,200
7/7 (木)	26,490.53	0.245	135.70	△ 0.010	△ 0.153	5,475,900
7/8 (金)	26,517.19	0.245	136.02	△ 0.008	△ 0.129	5,477,000

来週（7月11日から7月15日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/11 (月)	6月のマネースtock(日銀 8:50) 5月の機械受注統計(内閣府 8:50)				
7/12 (火)	6月の企業物価指数(日銀 8:50)	5Y 25,000億円 7/13発行			
7/13 (水)		交付税借入 13,000億円 7/27借入			米ページブック 6月の米財政収支 6月の米消費者物価指数
7/14 (木)		20Y 12,000億円 7/15発行			6月の米生産者物価指数
7/15 (金)	5月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 5月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)	TB3M 56,000億円 7/19発行	交付税借入 13,000億円 7/29借入		6月の米小売売上高 5月の米企業在庫 6月の米鉱工業生産・設備稼働率 7月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/11 (月)	800	4,000	4,800	国債補完 CP買入	13,400 ▲100		13,300	18,100	TB3M発行▲56000償還55200 TB6M発行▲24000償還33800
7/12 (火)	1,000	▲2,000	▲1,000				0	▲1,000	
7/13 (水)	▲500	▲41,000	▲41,500	CP買入		4,000	4,000	▲37,500	源泉所得税(賞与分)・労働保険 社会保障費 5Y発行▲25000
7/14 (木)	▲1,000	1,500	500				0	500	
7/15 (金)	500	▲10,000	▲9,500				0	▲9,500	20Y発行▲12000 個人向け3・5・10Y発行▲3300 償還2000
週間合計	800	▲47,500	▲46,700	—	13,300	4,000	17,300	▲29,400	

7/11は日銀予想、7/12以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み期間終盤となり、調整による調達ニーズが強まっている。14日までの無担保コールO/N物に関しては、▲0.02～▲千分の台での取引が中心となろう。15日は、次の積み期間にかかる取引となる事から、やや低下する事が予想される。また、11日に発表される7月積み期間に適用される基準比率は、各種オペの金額次第ではあるが、25.5%前後と予想する。レポ市場の足元GCでは、積み最終日を控え、今週と同様に動きが大きくなる事が懸念される。レート水準は、▲0.20%～▲0.09%近辺のワイドレンジでの推移が予想される。短国市場は、15日に3M物の入札実施が予定されている。また、12日に実施が予想される短国買入オペのオファー額は、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、15日の発行集中日が予定されており、市場残高がどこまで積み上がるのかに注目が集まる。

主要なイベントは、国内では11日に5月の機械受注、海外では13日に6月の米消費者物価指数、15日に6月の小売売上高などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をお読みください。